

審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	令和7年度 第1回 立川市自転車施策推進協議会
開催日時	令和7年12月19日（金曜日）午後2時00分～午後4時00分
開催場所	たましんRISURUホール 第6・7会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長及び副会長の選任について 2. 立川市第2次自転車活用推進計画の策定について 3. 立川市第2次自転車活用推進計画の施策の取組状況について 4. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自転車等駐車場のあり方に関する検討業務委託について (2) 次期自転車活用推進計画について
配布資料	資料1. 立川市自転車施策推進協議会について 資料2. 立川市自転車施策推進協議会 委員名簿（非公開） 資料3. 立川市第2次自転車活用推進計画 資料4. 立川市第2次自転車活用推進計画 取組状況 資料5. 立川市自転車等駐車場のあり方に関する検討業務委託 参考資料：次期自転車活用推進計画について（国土交通省自転車活用推進本部）
出席者	[委員] 黄毓菁、濱田綾子、秋和敏雄、梶田佳孝、古倉宗治、大島武巳、星野浩司、田中光徳、奥住秀樹、岩下光明、北島宏晃、倉科大地、岩澤貴顕、太田健一、島田尚利、小楠英之、長尾潤、榊原元秋 [事務局] 産業まちづくり部長（太田勇）、交通企画課長（石堂修）、自転車活用係長（加藤文英）、自転車活用係（田中仁一郎、前川勝、森谷正昭、森大介、清水康一）
公開及び非公開	公開
傍聴者数	2人
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長及び副会長の選任について 会長に梶田佳孝委員を、副会長に古倉宗治委員を選任した。 2. 立川市第2次自転車活用推進計画の策定について 令和7年6月に策定した計画について、ポイントとなる部分を選び、全体的に紹介、説明した。 ≪質問≫ 問：立川市全体の道路延長に対する自転車走行空間の整備目標値の距離、割合はどのようになっているか。 答：道路延長が約260kmに対し、整備目標は37.4kmのため、約14%となる。 問：事故件数について、令和6年度末の時点で293件であるのに対し、目標値が290件で3件減にしかないのか。 答：事故件数が増加傾向にある中で、件数を増やさないと

目標としている。

3. 立川市第2次自転車活用推進計画の施策の取組状況について

各施策の内容の評価（A、B、Cの3段階）と今後の展開（継続、改善、廃止）について説明した。

《質問》

問：小学校での自転車安全教育について、3年生だけではなくもう1回くらい行ってほしい。

答：交通安全教室の内容については、別に第12次交通安全計画を策定しており、その中で検討していく。

問：自転車運転免許証について、持っているといいことがあるような仕組みを作ってほしい。

答：現状では、配布しておしまいとなっているので、活用の場面など、いただいたご意見を参考にしていきたい。

問：走行環境の整備について、ナビラインの設置はどのように進めていく予定なのか。

答：市道1級線を中心に、5年間で約11kmについてナビマーク、ナビラインを整備していく目標を掲げている。

問：整備目標は掲げられているが、それが全体の中でどの程度の割合なのか、分かるようにしてほしい。

答：いわゆる分母がはっきりしているものについては、割合も併せてお示ししていきたい。

問：木陰があると自転車で走りやすくなり、また、駐輪場に留めやすくなるので、自転車の環境整備、快適性を向上させることに、緑地や木陰の創出を入れてほしい。

答：今後、いわゆる潤いみたいなものが感じられる駐輪場整備ができるのであれば、取り組んでいきたい。

問：放置自転車クリーンキャンペーンの評価について、現状はA評価だが、今よりも放置台数が増加するとB評価となるのか。

答：継続的に取り組んでいただいていることで、A評価としている。

問：シェアサイクル、ステーションの設置について、事業者と連携していることが、環境の整備に影響しているのか。また、設置目標とは別に、利用状況も評価対象とするか。

答：令和7年11月の時点で、市内74か所にステーションが設置されており、目標値100に向け、着実に整備されている。また、利用も堅調に伸びている。

問：シェアサイクル、ステーションの設置について、駅からの距離で利用状況が異なるなど、密度が重要となってくる。密度をどうするのか試算してみると、より分かりやすくなるので

	<p>はないか。</p> <p>答：設置数とともにエリアについても注視しながら、整備を進めていきたい。</p> <p>問：災害時の自転車利用体制づくりについて、災害の担当部署と連携をとっておく必要があると思われるが。</p> <p>答：災害時の避難手段としての自転車について、地域防災計画の中で、どのように位置づけられているかを確認したうえで、所管課と共有していく。</p> <p>問：自転車利用のメリットについて、CO₂の削減や医療費の削減など、具体的な数字を金額で示すことができると、もう少しインパクトがあるのでは。</p> <p>答：メリットの出し方として、費用対効果みたいなものも含めて、発信できればよいと考えている。</p> <p>4. その他</p> <p>(1) 自転車等駐車場のあり方に関する検討業務委託について</p> <p>業務委託の目的（利用実態や利用者の意識・要望を把握し、現状の分析・評価を行い、駐輪場のあり方や方向性を整理する）について説明した。</p> <p>(2) 次期自転車活用推進計画について</p> <p>国は、自転車を取り巻く社会情勢等の変化、ヒアリング・アンケート調査などを踏まえ次期計画を策定していることなどを紹介した。</p>
担当	<p>産業まちづくり部 交通企画課 自転車活用係</p> <p>電話 042-523-2111 内線2285</p>